



## 金田コーポレーション株式会社

本社：岡山県玉野市田井六丁目7番6号

業種：製造業

従業員数：37名（令和2年2月1日現在）

創業：1947年

資本金：5,000万円

拠点：田井・玉原・槌ヶ原・中国大連

URL：<http://www.kaneda-co.net/>

経営理念：

- ・全従業員の物心両面にわたる幸福と会社発展の為に誠実な姿勢で仕事に励みます
- ・和は力、互いに感謝、尊敬の念を持ち、共に信じて結束します
- ・将来に向かって飛躍を期する心意気を持ち、健全で革新的な企業を目指します



### BCP策定に取り組まれたきっかけ

南海トラフ地震の危険地域指定を受けているので、絶対に地震が起きるといふ危機感があったため。



### BCPの特徴・こだわりポイント

- ・保険会社にリスクコンサル＝**無料リスク診断を実施**してもらった。リスク診断の結果、**地震による液状化が一番被害の大きなリスクと判明した**為、BCPも地震と津波による液状化を想定して策定。（逆に津波による浸水被害のリスクは低かった）
- ・**正しいリスク分析と危機感による初動対応フロー**を構築できており、社内に掲示していることで、全体の周知徹底も実現出来ている。
- ・BCPは2020年2月に完成。今年から毎年社員への浸透も兼ねて防災の日に訓練を実施していく予定。同時に毎年このタイミングでBCP自体の見直しチェックも実施する。
- ・被害が生じた際の**代替生産については、自社内完結を想定**している。日本で何かあれば、中国・大連の工場にて、本社 が被災した場合でも別地域にある工場での代替生産を考えている。また、**岡山県ものづくり女性中央会ともものづくりなでしこにて、災害における連携・支援協定を締結**しているので、有事の助け合い体制も構築できている。
- ・2020年11月には、停電が起きた際に一部の設備を稼働するための自家用発電機を2台設置した。

### BCP策定のメリットやBCP策定・運用にあたり苦労した点

#### <メリット>

- ・業務の全てを洗い出し、一つずつ調べて、整理することで、BCP策定という観点以外にも色々なことが見えてきた。
- ・**何か起きる前にしっかりとリスク対策が出来ているということは、日常の通常業務の中でも使える部分（通ずる部分）が多々あり、気づきとなった。**（バックアップ電源有無等）
- ・BCPを策定していることで、何かあった時でもお客様に迷惑をかけない。

#### <苦労した点>

- ・現状を整理するために、調べることや整理することが多くて少し大変だった。（一方で、メリットにあるようにこの洗い出し作業はとても効果的だった）
- ・いざBCPを策定してみると、とても「お堅い」印象を感じた。会社、業種によってもう少し個々にアレンジできるまとめ方や使い方で、**もっと自在に策定出来れば「面倒だな」というイメージではなく、策定に興味湧くし「より使えるBCP」が策定出来るのではないかと感じた。**
- ・従業員が定期入れや財布に入れておく「**従業員携帯カード**」はもう少し常備しやすくする等、さらなる工夫の余地があるのではないかと考え中。